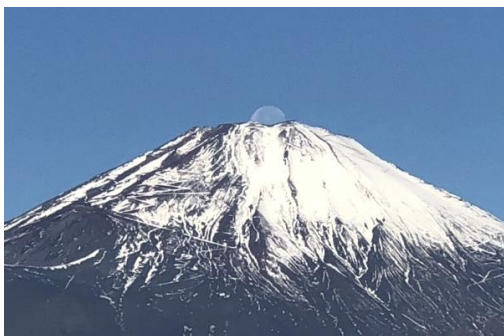


理念

人にやさしく信頼される病院



当院 5F から望むパール富士(撮影：園田院長)

基本方針

- ◆ 徹底した病診連携体制により地域の急性期医療を担います
- ◆ 医療のプロフェッショナルとして皆様の権利を守り質の高い医療を提供します
- ◆ 皆様の要望にやさしい言葉で対応します
- ◆ 医療を志した者が修得した技術をフルに活用できる病院を目指します
- ◆ 私たちは協調の心を常に心がけます

理事長就任にあたって



理事長 若林 良則

2019年6月に当法人・有隣厚生会の理事長職を拝命いたしました、わかばやしりのり若林 良則です。

簡単に自己紹介を申します。私は実は子どもの頃、就学1年前から小学校卒業までの7年間、御殿場市内に住んでいた、御殿場の出身者でもあります。

出身大学は日本医科大学医学部、今でいう初期研修は東京・飯田橋にあった当時の日本医科大学第一病院というところで2年間を過ごしまして、その後、東京慈恵会医科大学の第2内科に入局しました。この教室は腎臓内科を中心とし、神経内科・血液内科・感染症内科の小さな研究班も包含するという構成でしたが、私は腎臓内科の腎不全・透析療法を扱う研究室に配属され、学位論文は腹膜透析の臨床で書きました。大学在籍中は、当時の厚生省の政策医療の枠内で腎疾患医療を担当していた千葉の国立佐倉病院にも3年ほど出向し、腎炎・腎病理についての研鑽を積むこともできました。

35歳の時に大学からの派遣の形で沼津市立病院に赴任して腎臓内科を立ち上げ、11年ほどにわたって腎臓内科医長として地域の腎臓内科診療の全般を担当できたことは、臨床家として素晴らしい経験だったと思っています。その後は望星第一グループ内の透析クリニックでの業務を中心に、沼津市立病院・静岡医療センターの2か所の腎臓内科外来を週1日ずつ続けさせていただいております。

今後は職員の皆さんとともに、富士病院を中心とする有隣厚生会の医療機関を盛り上げ、地域に貢献していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

理事長 若林 良則



内科部長 飯島 克順

消化器内科の診療を担当させていただいている飯島克順と申します。これまで約12年間、順天堂静岡病院消化器内科に所属して消化器内科全般を経験し、特に直近の5年間はがん治療センターに出向して消化器がんの化学療法を中心に臨床経験を積んでまいりました。以前、東部病院、富士病院で内視鏡検査をしていた縁もあり、順天堂静岡病院を退職後、昨年7月から富士病院で勤務させていただくことになりました。

一口にがん治療と言っても、検診による早期発見、診断、治療、緩和ケア、在宅支援、終末期医療など多岐にわたります。その中で医師が関与しているのは診断、治療が主で、その他の多くの分野は専門知識を持つ人たち、薬剤師、看護師はもちろん、ケースワーカー、栄養士、臨床心理士などが関わっています。厚生労働省の指導も「がんを治す治療」から「がん患者さんを支える治療」へとその診療目標が変わってきています。

多職種による集学的治療の充実がなければ、患者さんとご家族に満足していただけるがん治療を提供することはできません。さらに、退院後の在宅支援、がん地域連携パス、歯科連携など地域レベルでのがんに関わる医療従事者の連携が求められています。しかし、現状では、がん患者さんの高齢化、生活様式の変化、医療従事者の確保などの問題があり、多くの施設で満足できる状況になっていません。当院では病院全体でこの課題に取り組んでいます。

私の関与する消化器関連のがん治療においても、ここ10年間で大きな進捗がありました。今まで化学療法に使用する薬剤はがん細胞の死滅を目的とした抗がん剤だけでしたが、近年、がんの血管新生を抑制する分子標的薬や、「オプジーボ」で注目された自己免疫能を活性化して抗腫瘍効果を導き出す免疫チェックポイント阻害剤など、次々と保険承認され、治療の選択肢が増えてきています。

また、従来の化学療法は、長期間の入院が必要で重い副作用と向き合わなければなりませんでしたが、副作用対策としての支持療法の充実により現在ではQOL（生活の質）を重視した外来化学療法が主体となっています。日常生活が以前より束縛されることなく、有効で安全ながん治療を外来通院で継続できるようになってきました。幸い当院には患者さんがストレスなく安全に化学療法を受けられる化学療法室が完備され、専門知識のあるスタッフの下で治療できる体制が整備されています。

がん治療において早期発見が非常に重要です。残念ながら我が国は先進国でありながら他国に比べ検診の受診率は決して高くありません。今や2人に1人ががんに罹患する時代です。消化器に関しては、内視鏡検査が主体となりますが、細径内視鏡の普及、前処置の改善などで検査時の苦痛は軽減されてきました。ぜひ地域の皆様におかれましては積極的に検査を受けることをおすすめいたします。

最後になりますが、当院ではこれからもカンファレンスなどを通して多職種間の連携を密にし、「安全で有効ながん治療」を提供できるよう日々努力してまいります。今後ともよろしくお願いたします。

内科部長 飯島 克順



「リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢 2019」参加報告



リハビリテーション室、作業療法士の^{のりづき かいち}法月嘉一です。

今回、令和元年11月21、22日に石川県金沢市で開催された「リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢 2019」にてポスター発表に参加いたしました。演題名は、「他人の手徴候が消失したにも関わらずADL低下を来した症例」です。

この症例の患者さんは、記憶・注意力の低下のほか、“他人の手徴候”や“左手の失行”など複数の高次脳機能障害が見られましたが、更衣動作がほぼ自立の回復期に転院となりました。しかし、その後の在宅復帰時に更衣動作は混乱し、介助なしで更衣できなくなってしまったという悲しい経過をたどりました…（涙）。（その後、当院の外来3回目で更衣動作の自立獲得となりましたのでご安心を）

症例の経過を時系列にまとめると、脳画像や生活状況から高次脳機能障害が疑われる場合には、適切な評価の実施と継続的なフォローの必要性の高さがわかったため、その内容を学会発表させていただきました。

高次脳機能障害といっても、聞きなれない方や詳しい内容が分からない方もいるかと思えます。麻痺や運動機能障害などと違い、見た目では分かりづらく、様々な障害と重複して見られることがあります。そのため、医療機関においても“見落としや見逃し”をしてしまうことが少なくありません。特に急性期では、多くの障害が見られることがあるため、“見落としや見逃し”の可能性が高くなります。

高次脳機能障害と分からず、適切な治療が受けられなかった場合、在宅復帰した後に生活のしづらさに気づいたり、復職した際に障害がわかり退職を迫られることがあるなど、人生に大きな影を落としてしまいます。

急性期病院の当院において、高次脳機能障害が疑われる患者さんと関わる際に重要な役割は、なんといっても障害を“見逃さない！見落とさない！”ことと言えます。そのためには、脳画像の読影と障害予測の精度を上げ、それらを的確に評価することが欠かせません。

自分自身の高次脳機能障害に対する知識と技術の向上を図り、重要な責務を担っていることを忘れず、臨床の中で患者さんの人生に寄り添い・想いをくみ取りながら、日々の努力を積み重ねていきたいと思えます。





糖尿病勉強会の開催について

個々の糖尿病患者さんに対する問題点の把握や指導について、一緒に学習してみませんか？
昨年、好評をいただいたバーチャルウェイトングループを取り入れた勉強会を、今年も開催いたしますので、是非ご参加ください。

始めに、俳優さんが演じる架空の患者さんの日常生活を視聴します。それをもとに、職種の異なる数名のグループで、どのように関わるべきか、またどのような提案ができるのか…など意見を出し合い、患者さんの療養について考えます。

バーチャル ウェイトングループ

日時：2020年2月6日（木） 17時45分～19時30分ごろ

場所：当院5階会議室

進行役：花山（栄養科）・磯崎（3E）

申込み：2/3（月）まで
FAXで参加者をお知らせ下さい
FAX 0550-83-3362
看護部長室 武田



つむ 結びカフェ 【高次脳機能障害】

脳機能は高次と低次に分けられます。おおまかには前者は人間固有の機能、例えば言葉を話すなどで、後者は動物を介した機能、飲み込むなどです。「もの忘れ」は代表的な高次脳機能障害の一つであり、当院ではMRIを用いたVSRAD、長谷川式簡易知能評価スケール、立方体模写などの机上検査を組み合わせて調べています。VSRADは脳萎縮の傾向をソフト解析するもので、アルツハイマー型に代表される進行性認知症と加齢や脳卒中などによる二次的なものとを鑑別します。その結果に応じて治療薬の選択や介護保険などの社会資源の活用や将来設計の参考にしていきます。

脳神経外科部長 岡村大成



編集後記

2020年幕開けです。東京オリンピックの年でもあり、楽しみの多い年でもあります。私たち有隣厚生会グループ病院も連携強化に努め、皆さまのご依頼に沿えるよう努力してまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。 地域連携室 佐野洋子

「富士病院だより」

第16号 2020年1月発行
発行人：園田紀夫（院長）
編集長：佐野洋子（地域連携室長）

公益社団法人 有隣厚生会 富士病院

〒412-0043 静岡県御殿場市新橋 1784
TEL 0550-83-3333(代) FAX 0550-83-4835
<http://www.yuurinkouseikai.or.jp/>

外来受付

（午前）11：30まで （午後）16：30まで

休診日

土曜午後、日曜日、祝日
年末年始（12月30日～1月3日）

診療科目

内科／循環器内科／腎臓内科／消化器内科
糖尿病内科／透析内科／呼吸器内科
脳神経内科／脳神経外科／心臓血管外科
外科／乳腺外科／大腸・肛門外科／泌尿器科
小児科／整形外科／リハビリテーション科
眼科／皮膚科／婦人科／放射線科
麻酔科／ペインクリニック内科
健診・人間ドック

交通案内

JR 御殿場駅 箱根乙女口 より徒歩約4分
東名高速「御殿場インター」より車で約3分

